

萩医療圏地域医療構想病床機能等検討部会（令和元年度第1回）議事概要

【日時】 令和元年7月31日（水）19：00～20：30

【場所】 萩地域医療連携支援センター 2F 研修室

【出席者】 市医師会長、病院関係者、市担当者 等

- 令和元年度の地域医療構想調整会議の主な協議事項等について説明を行った。
- 令和7年（2025年）に向けた（具体的）対応方針の決定に関連して、前回会議に引き続き、公立病院及びその他の病院の地域医療構想の達成に向けた対応方針を協議した。
- 山口県保健医療計画の別冊として策定する「外来医療に係る医療提供体制の確保に関する計画」等について説明を行った。

【議事内容】

1 令和7年（2025年）に向けた（具体的）対応方針の決定について

県医療政策課から、令和元年度の地域医療構想調整会議の主な協議事項等について説明を行った。

公立病院及びその他の病院の地域医療構想の達成に向けた対応方針の継続協議として、各対象病院から2025プランの（具体的）対応方針に係る進捗状況が報告された。

（主な意見・質問等）

- 救急告示病院である玉木病院から、救急医療に関して萩圏域の住民の安心のために後方支援機能を維持しておく必要があるので、今後慎重に検討する旨報告があった。
- 萩市民病院の公的医療機関等2025プランにおいて、急性期医療を担う医療機関についての記述があるが、萩市民病院と民間1病院に加え、他の民間2病院を追加し、計4病院に修正する旨報告があった。

2 平成30年度病床機能報告の結果・分析等について

県医療政策課から、平成30年度病床機能報告結果等について説明を行った。

（主な意見・質問等）

特に意見・質問等はなし

3 「外来医療に係る医療提供体制の確保に関する計画」の策定について

県医療政策課から、第7次山口県保健医療計画の別冊として策定する「外来医療に係る医療提供体制の確保に関する計画」について、説明を行った。

(主な意見・質問等)

- 計画の主要指標である医師偏在指標及び外来医師偏在指標の確定値公表が遅れているため、計画策定が来年度に延伸する可能性はあるか。
⇒今年度末までの策定に変更はない。

4 「医師確保に関する計画」の策定について

県医療政策課から、第7次山口県保健医療計画の別冊として策定する「医師確保に関する計画」について、情報提供を行った。

(主な意見・質問等)

- 産科及び小児科は二次医療圏とは別に設定され、萩は山口・防府の医療圏と一体とされているが、萩地域のみでの検討は可能か。
⇒産科及び小児科は、これまでに医療圏を越えた地域間の連携が進められてきた状況に鑑み周産期医療圏、小児医療圏ごとに検討するとされている。萩地域は、医師全体において医師少数区域に指定される見込みであり、その中で産科医・小児科医の確保も検討していきたい。
- 2036年を医師確保の達成目標年限にあげているが、医師養成の政策効果や働き方改革という要素が加わる中で、目標管理はどう行うのか。
⇒計画の策定後向こう4年、以後3年ごとの計画の改正・見直しに合わせて、達成状況を確認する。
- 医師確保への長期的な支援として、臨床研修など、学生の受入を地域全体でサポートする核のようなものを作っていかなくてならないと考える。

5 令和元年度（2019年度）医療機能分化連携推進事業について

(主な意見・質問等)

特に意見・質問等はなし